

第7回 (平成6年3月) 卒業 野地 佳代子

佐和高校を卒業して、十数年が経ちました。日常の中で、学生時代のことを思い出すことも少なくなっていました。この『君の心』のお話をいただき、高校生活を振り返ってみると、私が大きく成長できたきっかけがこの学生時代にあり、大切な事を沢山学ぶことができたことに改めて感じます。

三年間、私は吹奏楽部に所属していました。その当時、吹奏楽部は関東大会へ出場するなど、県内でも佐和の名が知られるようになりつつあり、私のまわりでも吹奏楽がやりたくて佐和高校を希望したという人も少なくありませんでした。でも私はというと、中学でも楽器を吹いていましたが、高校では続ける気持ちはなく、別な部に興味を持っていました。入学したてのある日、私の前に座っていたクラスメイトが「一緒に吹奏楽部、見学に行かないか」と誘ってくれました。彼女も、佐和で楽器が吹きたいと入学した人でした。なんとなく、一緒にいった見学でしたが、そこで運命が変わった！と言ったら大げさかもしれませんが、私のターニングポイントだったことは間違いありません。私は行ったその日に入学したいと思ったのです。初めて見る練習のやり方や、曲も聴いたことのない難しい曲ばかりで、私にこれができるだろうかと不安になりましたが、先輩方が真剣で、でも楽しそうにイキイキとしている姿がとても衝撃的でした。すぐに入学して練習をはじめたものの、志しが高く、経験豊富な友達との力の差は歴然。思うように楽器が吹けず、とても悩んだことを覚えています。私はアルトサクソフーンを吹いていました。サクソフーンの先輩方に練習方法を教えてもらったり、プロの奏者のCDなど、かたづけしから聴いて研究したり、朝は始発のバスに乗り朝練に行ったりと、今思えば、よくやってたなあと思ってしまうほど、夢中ででした。

そうしてすごした三年間。演奏会やコンクールなど、様々な場面で仲間とよく頑張った思い出が、今思い出しても胸があふれます。

その頃顧問をされていた横須賀義章先生がよく話をされていたことがありました。「楽しくなければ音楽じゃないよ」悩んだりつらかったりした事も越えて得られた本当の楽しさを知ることができ、その楽しさを知った部員みんな心をこめて演奏できた音楽は本当の音楽だったと思います。部活を通して親友とよべる友達や仲間ができたことも私にとって大きなことでした。社会人になった今でも、その頃の仲間と一般の吹奏楽団に所属し楽器を吹いています。この歳になっても音楽を通して、一喜一憂できることが幸せだなあと感じます。

今の高校生のみなさんは、どんな毎日を過ごしているのでしょうか。勉強でも部活動でもなんでも、楽しい！と夢中になれる何かを見つけて、充実した三年間を過ごしていただきたいと思っています。



道 宝

「道宝」

これは、弓を張る弦のいたみを直す道具の一つです。大学の部活を卒業する時、「歩んできた道は宝だから」という言葉とともに、先輩からこの道宝をいただきました。その言葉は私の心にとて響き、今までどんな道を歩んできたのかを振り返ることができました。

弓道を始めて10年。中学、高校、大学と弓道部の活動を続けてきました。色々あった10年間でしたが、学んだ事やたくさんの人との出会いがありました。

中学では、弓道を一から学びました。初めは弓矢を持たない練習や筋トレ、仕事ばかりの日々が続き、辛かった覚えがあります。弓を持てるようになってからは自然と弓道に夢中になっていました。今まで生きてきた中で、熱中できるものを初めて見つけたような気がします。そして毎日の積み重ねや努力することの大切さを学びました。しかし、中学弓道は人口が少ないこともあり、今思うと基礎をきちんと学ぶことが出来ず、自己流の射形になっていました。なぜ、的にあたる日とあたらない日があるのか、「弦で顔や腕をばらうのか」…など、疑問が残るまま高校でも弓道を続けることに決めました。

佐和高校へ入学。弓道部に入部し、今まで私がやってきた同じ弓道とは思えない新しい弓道と出会いました。基礎を固める練習では、一度も力を入れたことのないお腹や脚に力を入れる練習でした。中学からの経験者も、基礎が大切だから、となかなか弓を引かせてもらえませんでした。弓を持ち、的の前に立つようになる基礎もきっちり固まり、的にあたる時と外す時の原因も自分の体で知ることが出来るようになりました。「あたりは求めず、やることをやる。そうすれば結果はついてくる」それが佐和弓道部のモットーでした。しかし、やっと自分の弓道を掴み始めてきたところに引退。悔しだけが残り残りました。また、そこでは素敵な出会いもありました。先輩、後輩、同期の仲間とは衝突したり、ライバルになったりというときもありましたが、時には良き相談相手になったりと、良い関係を築く事ができました。卒業した今でも連絡を取り合ったり、飲み会を開いたりこれから信頼していい仲です。そして、弓道の本当の姿を教えてくださいました先生との出会い。私が高校時代、弓道の道を極め切れなかった悔しい思いを一番分かってくれていたような気がします。そしてその存在が、私が大学でも弓道を続けようと思ったきっかけとなったのです。

大学生になり一人暮らしが始まりました。部活に入ると、ほぼ毎日部活の仲間と過ごすようになり、一人暮らしの寂しさは一気に消えその仲間たちが自分の家族のような存在になっていました。40年の歴史をもつ弓道部には体育会系の独特な伝統や厳しさがあり、練習の緊張感とともに私たちを成長させてくれるとても刺激的でした。そして2年の夏、全国大学弓道選抜大会において優勝という日本一の栄冠を手に入れたことが出来ました。その瞬間、喜びと今まで歩んできた道で出会った方々への感謝の気持ちでいっぱいになりました。

学生弓道を終え、今振り返ってみると、「自分が歩んできた道、それは人との出会い、それが宝になる」と確信しました。

現在、私は理学療法士になるために専門学校に通っています。弓道をする機会は減ってしまいましたが、これからの人生を歩んで行きたいと思っています。その出会い一つ一つを大切に、それを宝にしてこれからの人生を歩んで行きたいと思っています。

第4回 (平成 年3月) 卒業 松本 美紀

全国大学弓道選抜



学年同窓会について

同窓会では本会の活動の一環として、会員相互の親睦及び同窓会活動の活発化を図るため平成十八年に「同窓会への助成金交付要項」を定めしました。(平成22年度役員会で一部改正)

今回、第15回生(平成14年3月卒)より申請があり、最初の助成金交付をいたしました。報告によりますと平成20年12月30日に水戸市のレイクビュー水戸において開催され103名の出席があったとのことでした。

同窓会への助成金交付要項(要)

(平成18年7月22日役員会決定)
(平成22年5月29日役員会改正)

1. 目的 茨城県立立和高等学校同窓会会員相互の親睦を図ることにより、同窓会活動を活性化すると共に、母校の発展に寄与することを目的とする。

2. 対象・条件	交付額
茨城県立立和高等学校同窓会会員による、各学年全員の参加を行う同窓会を対象とする。 (クラス会等の単体の同窓会は対象外とする。)	基本交付額
人数による条件	参加人数交付額
開催時期の条件	
その他条件	

3. 補助金交付の基準	基本交付額	参加人数交付額
参加人数		
30人以上～50人以下	30,000円	20,000円
51人以上～80人以下		30,000円
81人以上～100人以下		50,000円
100人以上～		70,000円
上記以外の条件で特例承認者があっても		

※ 基本交付額と、同窓会の前年度に於ける参加人数に比例した金額を交付する。

※ 同窓会に参加した人数が30人以上であったとしても、学年全員の参加が確認されず、またそれ以外の条件に該当する場合は、基本交付額は交付するものとする。

また、今年の夏には第14回生(平成13年3月卒)が学年同窓会を実施予定とのこと申請をいただいております。

本誌を読んで「学年同窓会やってみようかな」と思われたなら、まずは同窓会へご連絡下さい。同窓会では第一回総会を機に卒業生名簿の整備を行っております。個人情報保護のため制限を行っておりますが、正規の手続きのうえ開示を行っておりますので、同窓会を実施の際にはご活用下さい(有料)。助成金の申請についても詳しくご説明させていただきます。

これを機に同窓会名簿への掲載及び変更登録をしたいという会員の方は最終ページの「同窓会からのお願い」をご覧のうえ、お手続きをお願いします。

部活動紹介

吹奏楽部

同窓会の皆様におかれましては、日頃から吹奏楽部の活動に対し格別のご理解ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、昨年度は全国高総文祭、全日本管楽合奏コンテストへの助成金をいただきました。ありがとうございます。

平成21年度は吹奏楽部にとって忙しい一年間でした。3月にはソロコンテストでファゴットの皆神君が全国大会へ出場、静岡県浜松市まで行って参りました。5月には定期演奏会という大きな行事を終え、ほっとする間もなく野球応援。そして、7月30～31日には三重県津市で行われました「全国高等学校総合文化祭」に出場、夜行バス2台での強行軍でありましたがよい思い出となりました。さらに、夏のコンクールでは銀賞という結果でしたが、その後、「全日本管楽合奏コンテスト」の予選を通過し、11月には東京都文京シビックホールにて全国大会の舞台を踏むことができました。例年ですと秋には勝田養護学校や介護施設等へ慰問演奏をしておりましたが新型コロナウイルスの影響により延期、年が明けて流行も一段落してから1月にプロスペクトガーデンひたちなかにおきましてやと音楽会が開催されました。いつも思いますが、慰問演奏の後は部員たちの中で顔つきの変わってくる者が増えてきます。心から演奏を楽しんでくださる方々との交流で、自分たちも多くのことが吸収できています。心から演奏を楽しんでくださる方々との交流で、自分たちも多くのことが吸収できています。心から演奏を楽しんでくださる方々との交流で、自分たちも多くのことが吸収できています。

平成22年度は7年間顧問を務めて参りました塩谷先生が勝田養護学校へ転勤となり、生徒たちも不安の中で活動開始となりました。しかし、休日練習には顔をだしていただいて5月の定期演奏会には客演指揮として参加、盛会のうちに演奏会を閉じることができました。また、本吹奏楽部の創設者である横須賀先生が昨年度から教頭として赴任されており、アンコールの指揮をとっていただきました。古いOBたちも駆けつけてくれて、絆の強さを感じた1日でした。

毎日朝早くから夜までの部活動を通して、生徒たちは勉強だけでは決して得ることのできない多くのものを学び取っております。自分の好きなことに真剣に取り組めば取り組むほど、周りとのぶつかり合いも起きてきます。しかし、本当に困ったときこそ校訓である「君の心に聴け」を胸に、一人一人が前へ進んでいってまいります。また、この数年は四回生の益子和子さんが外部講師として吹奏楽部の面倒を見てくれています。佐和高等を卒業後に苦学して音楽大学を卒業し、現在はフリーの演奏家として活躍しながら後進の指導に当たっております。72名の部員一同、現役同士のつながり、OBと現役のつながり、地域や家庭とのつながり等、様々なつながりの中で自分たちが活動できている事を強く感じておりますので、今後とも現役生へのご理解ご協力のほどをよろしくお願いいたします。



朗読部

平成15年に発足した朗読同好会は7年を経過した今年の5月、朗読部へと昇格いたしました。朗読部の活動は「作品の心を声で伝える」を基本にした文学作品などの朗読活動です。発表の場合は、PTA総会アトラクション、2ヶ月に1回の朗読講座、県立図書館主催の読み聞かせコンクールなどです。特に、朗読講座は地域の方に朗読の基礎を教えるという形で行って今年で6年目を迎えます。生徒達が教える表情・発声トレーニングは大変好評で3年以上続けて通ってくださる方もいます。同窓生の皆様で「読み聞かせ」や「朗読」に興味をお持ちの方には是非受講していただきたいと思っております。

今年度の講座は7・9・11・1・3月の第4日曜日です。時間は1時30分から3時30分です。お問い合わせは、図書館勝山までお願いいたします。



現在の学校の状況

茨城県立佐和高等学校
ホームページアドレス <http://www.sawa-h.ed.jp/>

進路状況

平成二十年度進路合格状況

進学	国立大学	3名	茨城大学	
	私立大学	103名	常磐大学、茨城キリスト教大学、流通経済大学	他多数
	短期大学	22名	常磐短期大学、茨城女子短期大学、水戸短期大学	
	専修学校	73名	水戸自動車大学校、水戸ビューティ、リリー保育福祉	他多数
就職	(専門62名、看護11名)		水戸医療センター附属校の郷看護、土浦協同病院附属看護	他多数
	一般企業	29名	郵便局(株)、北越製紙(株)、(株)コマツ	他多数
	公務員	2名	東海村職員、ひたちなか市消防官	

平成二十一年度進路合格状況

進学	私立大学	115名	常磐大学、茨城キリスト教大学、つくば国際大学	他多数
	短期大学	19名	常磐短期大学、茨城女子短期大学、東京交通短期大学	
	専修学校	96名	文化デザイナー学院、水戸経理、鯉淵学園農業栄養	他多数
	(専門75名、看護21名)		水戸医療センター附属校の郷看護、土浦協同病院附属看護	他多数
就職	一般企業	12名	東日本旅客鉄道(株)、京成ホテル(株)、(株)山新	他多数
	公務員	4名	水戸市消防官、自衛官	

部 活

陸上部	第56回関東高校陸上競技選手権大会女子棒高跳び出場 菅原菜々恵(3年) 7位入賞
弓道部	全国高校弓道大会茨城県大会(インターハイ県予選) 男子団体4位、女子団体5位、男子個人第4位入賞 春季水戸地区大会 男女団体戦優勝 県大会へ出場 男子個人の部優勝
男子テニス部	関東高校テニス大会県大会(ダブルス1、シングルス1) 出場決定
女子テニス部	関東高校テニス大会県大会(団体、ダブルス5、シングルス5) 出場決定
女子バスケットボール部	関東大会水戸地区Aブロック予選 地区予選2位 県大会出場 関東大会県予選 敗退 インターハイ水戸地区Aブロック予選 地区予選1位 県大会出場

女子テニス部	4/10,11,13 団体 推薦 前年度新人戦県大会ベスト8のため、地区推薦
シングルス	推薦 成田 実優② ダブルス 準優勝 稲田 華絵③・小室 亜紀③ 5位 市毛真奈美③ 5位 市毛真奈美③・土生 美咲③ 6位 片岡 愛理③ 7位 中野 聡美③・井上 まり③ 10位 埴 亜梨沙③ 8位 片岡 愛理③・埴 亜梨沙③ 14位 稲田 華絵③ 10位 河村真由子③・笹嶋あかね③

野球部

第62回春期関東地区高校野球茨城県大会県北地区予選
4/10 1回戦 対勝田 3-2
4/11 代表決定戦 対日立北 3-1
同県大会
4/25 1回戦 対常総学院 0-8
第63回河北高校野球大会
6/2 2回戦 対太田一 3-11

家庭クラブ 3の2 萩野谷 安己帆

- ・平成21年度 家庭クラブ水戸地区審査会 最優秀賞
- ・第57回 茨城県高等学校家庭クラブ研究発表大会 県知事賞、同クラブ員奨励賞、同成人会長賞
題目「おばあちゃんの笑顔がみたくて」
- 平成22年度 第58回 全国高等学校家庭クラブ研究発表大会(福岡大会) 出場決定
- 平成22年8月5・6日 福岡サンパレス ホテル&ホール

同窓会からお願い

同窓会では、平成十六年度に同窓会会員名簿を発行いたしました。その際、住所の確認が取れなかった方、その後、住所変更された方々につきましては、宛先不明となっております。また、会員名簿作成の際に「住所を掲載しない」と希望された方々についても住所の確認が取れない状態となっております。

このことから、同窓会では同窓会会員名簿を基にデータを作成し、継続して整備を行なっていくため、総会で事業案・予算案に計上し、提案させていただき、可決されました。つきましては、今後、会員の方々の現住所の追跡調査を行ってまいりたいと思っております。で、お名前の変更や住所の異動等があった場合、また、お知り合いの方で前述などの理由により住所の確認が取れない方がいる場合は、「佐和高校ホームページ(アドレスは本ページ上部に記載)・同窓会からのお知らせ」から様式をダウンロードしていただき、学校あてに送付くださるようお願い申し上げます。

編集後記

日頃より同窓会活動にご協力頂き有難うございます。

今回2年前に続き同窓会会報第二号を発行出来ましたことを非常に喜んでおります。

また、今回発行に当り新旧名誉会長におきましては快く寄稿賜り、心から感謝申し上げます。

これからも送付されることなく発行できるように同窓会活動を盛り立てて行きたいと思っております。

会員の皆様の一層のご協力をお願い致します。

また、この会報を切っ掛けに学年同窓会、クラス同窓会が活発になり、会員皆様の絆が深まって行くことを願っております。

それでは第三号の発行まで。

役員一同